

公益社団法人 日本材料学会
腐食防食部門委員会 第363回例会

日 時：2025年11月18日(火) 10:45～16:30

場 所：大阪府教育会館 たかつガーデン 地下1階 オリーブ

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7番11号 TEL: 06-6768-3911

(近鉄「大阪上本町」駅から徒歩約5分, Osaka Metro 谷町線「谷町九丁目」
駅から徒歩 約8分. <https://www.takatsu.or.jp/access>)

腐食防食部門委員会の法人委員・個人委員はオンラインでの視聴も可能とします。

主題「水素ぜい化の評価・解析法」

省資源・省エネルギーの観点から構造用金属材料は「薄肉軽量」が求められるため、高強度材料が活発に開発されている。しかしながら、高強度化された金属材料内に微量に存在するもしくは材料内に侵入する水素は、著しいぜい化を引き起こす場合があることが知られている。当部門委員会では、このような背景から講座「水素ぜい化の評価・解析法」を企画し、会誌「材料」第71巻(2022年)第3号～第7号に掲載した。本例会ではその内容の理解をより深めるために講座記事をテキストとして執筆者に解説いただく。

— プログラム —

	Business Meeting	10:45～11:00
(司会 西山佳孝 日本製鉄(株))		
1. 応力負荷試験による高強度鋼の水素ぜい化評価		11:00～11:50
	秋山英二 東北大学	
	昼 食	11:50～13:00
2. 高圧水素ガス中での材料試験		13:00～13:50
	小出賢一 日鉄テクノロジー(株)	
3. 水素昇温脱離曲線の数値シミュレーションに基づく解釈		13:50～14:40
	海老原健一 日本原子力研究開発機構	
	休 憩	14:40～14:50
(司会 土谷博昭 大阪大学)		
4. 電気化学的水素透過法とその展開		14:50～15:40
	伏見公志 北海道大学	
5. 金属材料中の水素のリアルタイム可視化技術		15:40～16:30
	菅原優 島根大学	

(協賛予定) 安全工学会, 化学工学会, 火力原子力発電技術協会, 近畿化学協会, 軽金属学会, 資源・素材学会, ステンレス協会, 自動車技術会, 石油学会, 電気化学会, 日本化学会, 日本機械学会, 日本金属学会, 日本原子力学会, 日本高圧力技術協会, 日本航空宇宙学会, 日本鋼構造協会, 日本材料科学会, 日本伸銅協会, 日本鑄造工学会, 日本鉄鋼協会, 日本電子材料技術協会, 日本非破壊検査協会, 日本表面真空学会, 日本プラントメンテナンス協会, 日本分析化学会, 日本防錆技術協会, 日本保全学会, 日本溶射学会, 日本溶接協会, 表面技術協会, 腐食防食学会, 溶接学会

腐食防食部門委員会委員以外の方は、参加費を戴きます。

日本材料学会・協賛学会会員：5,000円, その他非会員：10,000円。

【申込先】〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町1-101 公益社団法人日本材料学会

e-mail : jimu@office.jsms.jp